意見広告参加者名簿

［右下から続く］

意見広告

中国に端を発するコロナウィルスの被害に苦しんでいる皆様にお見舞い申し上げます。

こうした中にあっても、日本国と日本国民の将来に重大な影響をもたらす出来事が起こっています。その一つが教科書問題です。しばし、私どもの訴えに耳を貸して下さい。

「つくる会」の歴史教科書を「一発不合格」にした

文科省教科書検定に異議あり！

教科書調査官は国民への説明責任を果たして下さい！

●教科書検定の驚くべき結果

3月24日公表の文科省による中学校歴史教科書の検定結果は驚くべきものでした。

今まで5回も検定に合格し教室で使われてきた「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書（自由社）が「一発不合格」になったのです。

それだけではありません。「つくる会」を中心とした運動によって教科書からほとんど一掃されていた「従軍慰安婦」という言葉が復活し、「南京事件」のあやしげな中国人の証言に何の検定意見もつきませんでした。自虐的な教科書記述が復権したのです。

●「一発不合格」のカラクリ

自由社の教科書につけられた検定意見（欠陥箇所）は405件でした。杜撰な教科書だという印象ですが、実態は全く違います。❶から❺の実例を見て下さい。教科書調査官の指摘は不合格を目的にしたデタラメです。

4年前、文科省は規則を変えて教科書の頁数の1・2倍以上の検定意見が付いたら、修正も再申請も認めない「一発不合格」制度をつくりました。自由社にその制度を適用するためにデタラメな検定意見を水増ししたのです。これは職権濫用による「不正検定」です。

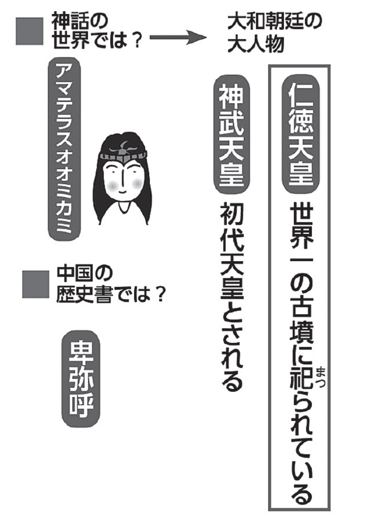
●私たちは主張します

▽教科書調査官は「不正検定」疑惑について著者側との公開討論に応じるべきである。

▽国会は双方の意見を聞く機会を設け、首相・文科相は見解を表明するべきである。

▽教科書検定制度の抜本的改革を進めよう。

①間違っていないのに「欠陥」指定


登場人物紹介コーナー
小学校で学んだ人物を中心に紹介
神話の世界では？
大和朝廷の大人物
アマテラスオオミカミ
神武天皇
初代天皇とされる
仁徳天皇
世界一の古墳に祀られている
中国の歴史書では？
卑弥呼

自由社 P19

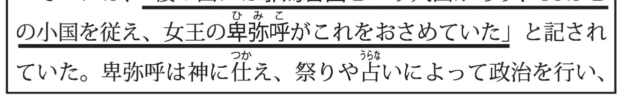
■「祀（まつ）られている」は「生徒が誤解するおそれがある」から×。「葬られている」が正しい（文科省）。天皇陵は単なる墓所ではなく、宮内庁が祭祀の対象としている。「葬られている」かどうかは議論の余地があり、この方が誤解される。

②検定意見の方が「欠陥」

自由社 P162

■「土佐藩を通じて徳川慶喜に大政奉還をはたらきかけたともいわれます」は×（文科省）。「龍馬の実際の行動」を「生徒が誤解するおそれのある表現」だという。だが、龍馬の行動は史料的にも明らか。こんな検定、龍馬も泣いている。

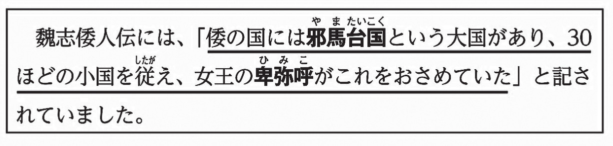
③同じ記述　前回は合格今回は不合格



そこには、「倭の国には邪馬台国（やまたい）という大国があり、30ほどの小国を従え、女王の卑弥呼（ひみこ）がこれをおさめていた」と記されていた。卑弥呼は神に仕（つか）え、祭りや占（うらな）いによって政治を行い、

自由社 P40（現行版）

合格



魏志倭人伝には、「倭の国には**邪馬台国**（やまたいこく）という大国があり、30ほどの小国を従（したが）え、女王の**卑弥呼**（ひみこ）がこれをおさめていた」と記されていました。

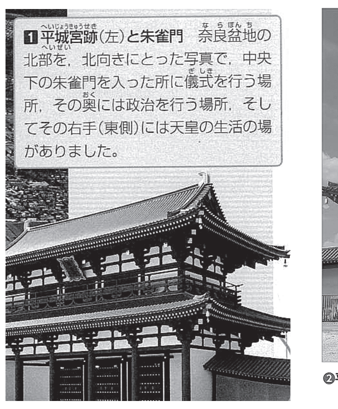
自由社 P35

不合格

■平成26年度検定で合格した現行版の記述と今回不合格となった記述（下線部）は一字一句全く同じ。今回不合格の理由は、「忠実な引用」と「誤解する」!?「忠実な引用」なら漢文ですよ！

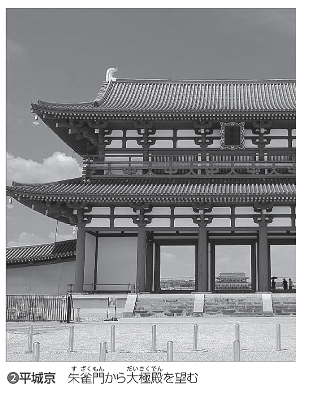
［左上へ続く］

④同じ教材 他社は合格自由社だから不合格



1 平城宮跡（へいじょうきゅうせき）（左）と朱雀門　奈良盆地（ならぼんち）の北部（ほくせい）を、北向きにとった写真で、中央下の朱雀門を入った所に儀式（ぎしき）を行う場所、その奥（おく）には政治を行う場所、そしてその右手（東側）には天皇の生活の場がありました。

東京書籍　P42（現行版）

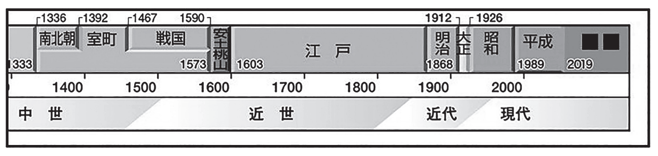


❷平城京　朱雀門（すざくもん）から大極殿（だいごくでん）を望む

自由社 P54

■自由社は「復元」と書いてないから「誤解」する（文科省）。でも東京書籍も書いていないのに合格している！特定の教科書会社を差別する許し難い暴挙。

⑤「何が何でも自由社を落とせ」悪意のこもった懲罰検定



自由社 P9

■新元号「令和」の発表が、文科省に申請する教科書の印刷時期と重なって間に合わず、新元号が入る予定の箇所を「■■」と伏せ字にしておいたら、それまでをも欠陥箇所に認定する文科省。底知れぬ悪意のこもった懲罰的検定である。

⑥「不正検定」による「一発不合格」のカラクリ

検定意見は「教科用図書検定基準」を根拠とする。405箇所を検定基準の項目別に統計をとった。

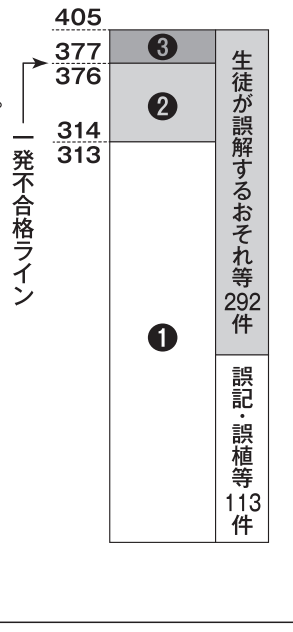
●欠陥箇所 405 の検定基準項目別件数

2–(1) 学習指導要領との関係	5（1.2%）
2–(9) 資料の信頼性	3（0.7%）
2–(10) 著作権関係	2（0.5%）
3–(1) 誤り・不正確	59（14.6%）
3–(2) 誤記・誤植	29（7.2%）
3–(3) 生徒が誤解するおそれ等	292（72.1%）
3–(4) 漢字等表記の適切	15（3.7%）

上の表で、誤記・誤植などの単純ミスは少なく「生徒が誤解するおそれのある表現」等が72%を占めた。この紙面の①～④も3–(3)を適用したもの。

右のグラフで欠陥箇所が自由社教科書（314頁）の頁数未満なら❶通常の検定。❷は作り直して再申請して合格できる。❸は頁数の1.2倍以上の検定意見がつくと「一発不合格」となる。この❸の制度は2016年に導入された。

誤記・誤植などの件数を足しても到底「一発不合格ライン」(→)に達しない。そこで3–(3)を武器にこじつけと揚げ足取りで欠陥箇所を水増しして一発不合格ラインにもっていった。こんな検定許せるか？



●意見広告発起人

加瀬 英明（代表・外交評論家）

小堀 桂一郎（東京大学名誉教授）

ケント・ギルバート（アメリカ加州弁護士）

高須 克弥（高須クリニック院長）

葛城 奈海（ジャーナリスト）

佐山 サトル（初代タイガーマスク）

広告主催者：文科省「不正検定」を正す会　代表：加瀬英明

連絡先 〒112-0005 東京都文京区水道 2-6-3-2F 電話 03-6912-0047

FAX：03-6912-0048 ●ホームページ：fuseikentei.org

●メールアドレス：fuseikenteiwotadasukai@gmail.com

●ご寄付送り先：①郵便振替口座［記号番号］00100-9-731588（通信欄利用）

②ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座0731588（通信文はメールにて）

口座名義はいずれも【文科省「不正検定」を正す会】

匿名　9名

（以上、1392名）

●意見広告関係日誌

▼2019（令和1）年

▽11・5 文科省、自由社に「不合格」（欠陥箇所405件）の検定結果通知

▽11・25 自由社、175箇所の反論書提出

▽12・25 文科省、自由社に175箇所の反論の全てに「否」の判定。「一発不合格」が確定

▼2020（令和2）年

▽2・21 つくる会、「一発不合格」を公表

▽3・24 文科省教科書検定審議会、検定結果公表